

臨港バス（川崎市内線）の上限運賃変更認可申請について

川崎鶴見臨港バス株式会社（本社：神奈川県川崎市、取締役社長 平位武、以下「臨港バス」）は、2023年3月16日を実施予定日とした、川崎市内乗合バスの運賃改定について、本日、国土交通大臣宛てに一般乗合旅客自動車運送事業の上限運賃変更認可申請を行いました。

日頃より、ご利用いただいておりますお客様には、何卒事情をご賢察のうえご理解賜りますようお願い申し上げます。

1. 申請理由

臨港バスの川崎市内線においては、1995年3月の前回改定以降（消費税率改定によるものを除く）、約28年という長期に渡り運賃を変更することなく輸送サービスを提供してまいりました。この間には幾多の社会情勢の変化の影響を受け、輸送人員が減少するなど厳しい経営状況となる時期もございましたが、様々な経営合理化策を講じて事業を継続してまいりました。しかしながら、バス車両の更新や老朽化した営業所施設の改修、深刻な運転士不足による要員確保に伴う人件費の増加、燃料費の価格高騰などにより、輸送コストが上昇するほか、脱炭素社会への取組みやICT・IoT技術を活用した取組み、キャッシュレス決済の拡大などバス事業の変化への対応により多額の資金が必要となり、さらに厳しい経営状況となる事が予想されます。このため、今後も安全・安心な輸送サービスを維持していくためには運賃改定による収支改善が必要と判断し認可申請を行ったものです。

2. 申請内容

- (1) 申請日 2022年9月13日
 (2) 実施予定日 2023年3月16日
 (3) 申請内容 川崎市内線の上限運賃変更認可申請
 （横浜市内線の上限運賃の変更申請はございません。）
 (4) 申請(上限)運賃 改定率 9.52%

普通旅客運賃 (川崎市内均一)		現行運賃	申請(上限)運賃 (※1)	実施運賃(予定) (※2)
大人	現金	210円	230円	220円
	IC	210円	230円	220円
小児	現金	110円	120円	110円
	IC	105円	115円	110円

定期旅客運賃		現行運賃	申請(上限)運賃 (※1)	実施運賃(予定) (※2)
通勤	1ヶ月	9,500円	10,350円	9,900円
	3ヶ月	27,080円	29,500円	28,220円
	6ヶ月	51,300円	55,890円	53,460円
通学 (大人)	1ヶ月	7,440円	8,150円	7,440円
	3ヶ月	21,200円	23,230円	21,200円
	6ヶ月	40,180円	44,010円	40,180円
	12ヶ月	60,000円	65,710円	60,000円
通学 (小児)	1ヶ月	2,400円	2,630円	2,400円
	3ヶ月	6,840円	7,500円	6,840円
	6ヶ月	12,960円	14,200円	12,960円

※1 申請(上限)運賃とは、一般乗合バス事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額です。

※2 実施運賃とは、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客様から収受する運賃額です。

※3 表中の実施運賃につきましては現時点での予定であり、変更となる場合があります。認可をいただいた後、あらためてお知らせいたします。

※4 通学定期券については家計への負担を配慮し運賃を据え置く予定としております。

3. 収支状況および輸送人員（川崎市内線）

		輸送人員	収支状況
2019年度 実績年度		32 百万人	△ 187 百万円
2023年度 平年度推計	改定前	33 百万人	△ 654 百万円
	改定後	32 百万人	△ 349 百万円

※ 2023 年度平年度推計（改定後）の収支状況および輸送人員は、申請(上限)運賃での推計数値です。

※ 2020 年度、2021 年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けているため、記載しておりません。

※ 2023 年度（平年度）は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を加味せず、また、2022 年度より開業した新規路線の需要を見込んだ推計数値です。

4. これまでの経営改善と今後の取り組み

臨港バスでは、貸切事業の縮小、業務の内製化等による経営の効率化を図るとともに、ご利用状況に応じた路線計画の見直しによる増収策も講じてまいりました。

また、川崎市交通局上平間営業所全路線の受託運行や京浜急行電鉄株式会社と川崎市との包括連携協定をベースとした新規路線の運行など、川崎市内の大切な交通手段を確保してまいりました。

現在のコロナ禍においては、ご利用状況を踏まえた運行計画の見直しと管理部門の業務の見直しによる効率化を行い、輸送サービスの維持に取り組んでおります。

また、今後も運行計画の見直し等、更なる経営改善を図り事業を継続してまいります。

5. サービス向上への取り組み

今後も安全・安心と環境配慮を目的として、バス車両更新の際にはドライバーの異常時対応システム「EDSS」搭載バスやハイブリッドバスの導入の他、2022 年度末には連節バスの導入を計画しており、バス 1 両あたりの輸送力を向上させ脱炭素社会への取り組みを推進するとともに、ドライブレコーダーおよびデジタルタコグラフによる運転管理と運転士教育の実施により、運転技術の向上とエコ運転を推進し、さらなる安全・安心な輸送の提供と燃費向上による経費削減と環境配慮に努めてまいります。

また、ICT・IoTを活用した取り組みやキャッシュレス決済の拡大を積極的に検討するなど、旅客サービス向上にも一層取り組んでまいります。